

令和3年度 重点研究事業「地域課題解決研究」事後評価結果の概要

令和5年1月18日
研究推進委員会

本学では重点研究事業の成果などの状況を把握し、今後の研究の更なる発展に資するために、令和3年度 重点研究事業「地域課題解決研究」について、事後評価を行った。その結果は次のとおりである。

1. 対象となる事業

令和3年度重点研究事業で採択した研究課題のうち、「地域課題解決研究」の16件。

【参考:令和3年度重点研究事業の研究区分】

若手奨励研究, 先端的研究, 学長プロジェクト(先駆的成果還元型研究), 学長プロジェクト(事業化促進技術開発)
地域課題解決研究, 地域課題解決研究(広島県との連携分)

2. 事後評価の方法

1研究事業あたり2名(外部評価者1名 及び 研究推進委員1名)による事後評価を行った。

また、課題提案者にも、参考評価意見を求めた。

3. 評価結果の概要: 以下のとおり。 (単位: 16件×2名の中の件数)

令和3年度も、前年度同様、新型コロナウイルス感染症の流行による出張制限により、

現地調査等を主とする課題についてはやむを得ず、当初予定していた研究活動ができず、目標達成に至らなかった。

	目標達成度	研究成果の効果	成果の発表・活用	総合評価
評点4	1	10	3	8
評点3	20	15	14	12
評点2	9	7	12	8
評点1	2	0	3	4
	32	32	32	32

